



いわて・みやぎ・ふくしま 便り

2020年
2月3日発行

日本生協連
組合員活動G

No. 9

「いわて・みやぎ・ふくしま便り」No.9をお送りします。

2020年も引き続き、被災地の様子をお伝えしていきます。

気温の安定しない日々が続いておりますが、体調に気を付けて元気に過ごせますように。



田老町漁協へのボランティア活動のご案内



いわて生協の産直先でコープの商品製造も行なっている、宮古市の田老町漁協にて、今年も袋詰め作業のボランティア活動を実施します。

わかめの収穫は3月中旬からスタートし、水揚げしたものをボイル→塩蔵→脱水し、袋詰めを行い、コンテナに入れて保管します。この袋詰め作業は3月下旬から4月中旬までの短期間のため、震災前は漁協周辺にお住まいの方がアルバイトに来ていましたが、震災後は家もなくなり、作業する人が減ってしまいました。そこで、いわて生協コープボランティアセンターでは、2014年より袋詰め作業のボランティアを行ってきました。

これまで、全国の生協のみなさまにもご参加いただいておりますが、今シーズン分の日程が決まりましたので、ご案内いたします。みなさまの参加をお待ちしております。



昨年の作業の様子
難しい作業ではありません

日 程 3月28日(土)、29日(日)、4月5日(日)の3回

行 程 盛岡市内6:30発 17:00帰着予定でバスを運行します

作業は9:00~14:00頃で途中、休憩が入ります

作 業 塩蔵加工されたわかめの12キロずつ袋詰め作業

持ち物 昼食飲料、長靴、新品のゴム手袋、寒くなく、濡れてもいい服装(カッパ)、長靴

お問い合わせは、いわて生協組合員活動チーム 電話019-603-8299 担当池田まで

※このボランティアとあわせて、被災地視察への対応もできますので、ご相談ください。



台風 19 号被害に対し、支援活動を行っています



みやぎ生協では、台風 19 号の被害を受けてみやぎ生協の産直「めぐみ野」産地である角田市・丸森町を中心に支援活動を行っています。

12 月 14 日、JA みやぎ仙南丸森支所前にて、県内の他の地域の「めぐみ野」生産者のみなさんと理事・エリアリーダーなどが協同で炊き出しを行い、鉄板焼きやごはん、殻付き蒸しがき、かき汁、いちごなど約 230 食を召し上がっていただきました。丸森地区にお住まいのこ〜ぷ委員がチラシ配布を行い、避難所に避難している方だけでなく、近隣や遠方で在宅避難をされている方なども参加されました。参加者からは、「殻付きの蒸しがきを初めて食べた。おいしくてびっくりした」などの感謝の声のほか、「仮設住宅が決まって安心だが、いろいろ買い揃えることを考えると大変だ」など、被災後のご苦労を話される方もいました。



活動に参加した生産者のみなさんと
みやぎ生協メンバー・職員



炊き出しの様子



全国の生協のみなさんが来訪されました



①12 月 4 日～5 日、コープこうべの組合員と役職員 9 人が来訪され、仙台市若林区荒浜の震災遺構などを視察したほか、めぐみ野交流集会に参加し、宮城県漁協志津川支所へのメロンパン募金とみやぎ生協ボランティアセンター応援募金を贈呈くださいました。コープこうべのみなさんには、被災された方々の手作り品を掲載した「とうほくてしごとカタログ FUCCO (フッコ)」の商品販売や、手作り団体との交流などに継続して取り組んでいただき、毎年、手作り団体との交流を行っています。今回もアイトピアホールで交流会を開催し、商品を手に取りながら使い方を詳しく話したり、特徴などを聞いて「今度販売するときは、そこを紹介するわ」など、活発な交流が行われました。



手作り団体との交流の様子

②12 月 12 日には、共立社新庄生協のみなさん 6 人が来訪され、石巻地区のボランティアセンター活動応援募金を贈呈くださいました。本当にありがとうございました。



募金贈呈の様子（左：コープこうべのみなさん、右：共立社のみなさん）



「とうほくてしごとカタログ FUCCO vol.5」を発行しました



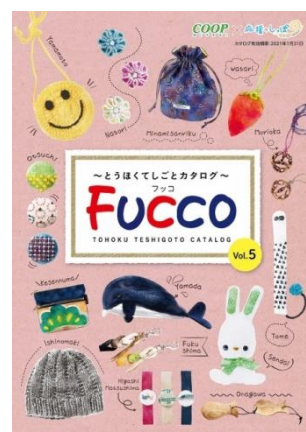
被災された方々による手作り雑貨を掲載しているカタログ「とうほくてしごとカタログ FUCCO Vol.5」を発行しました。みやぎ生協の店舗に設置したほか、ホームページでも公開しています。

<https://www.miyagi.coop/support/shien/handmade/>

今回、新商品を多数掲載しているほか、一部団体のページに「二次元コード」を掲載し、リンク先のホームページや動画で、各団体の様々な活動を知ることができるようになりました。販売時トークなどの参考になりますので、ぜひご活用ください。

カタログは、1冊～500冊程度まで費用負担なしでお送りできますので、地域ご担当理事やコープ委員長などリーダー層の皆様への配布のほか、様々なイベントなどでの配布にご協力ください。また、地域のお店（カフェ・雑貨店など）で設置くださるお店がありましたら、ぜひご紹介ください。

カタログの配布、委託販売のしくみを活用した販売などにご協力いただき、商品購入を通じた復興応援にご協力ください。



鳥取県生協のみなさんが被災地を訪問されました



2019年12月7～8日、鳥取県生協の組合員のみなさん6名が、被災地視察のために来福されました。1日目は、各地の状況や東京電力廃炉資料館を見学した後、富岡町に帰還している北崎一六さんより現在の富岡町での暮らしについて、お話を伺いました。震災前、北崎さんの集落は38世帯でしたが、現在は5世帯13名で生活しているとのこと。「自分の集落は自分で守る」と自治消防団を結成し、定期的に消防訓練をしているそうです。苦労しながらも前向きな北崎さんの言葉に、感慨を深くしました。

2日目は、いわき市の塩屋崎灯台の麓に完成したばかりの「記憶石」を訪問しました。これまで鳥取県生協をはじめ、全国生協のたくさんの方々に塩屋崎灯台と山六観光を訪問していただき、募金にご協力いただいております。その募金をもとに2019年11月、“未来への希望を込めて”ようやく「記憶石」が完成しました。機会がありましたら、ぜひ風光明媚な景勝地にお出かけ下さいますように…。



鳥取県生協のみなさん



塩屋崎灯台の麓に完成した記憶石



今年度も多くのご支援を頂いています



2019年12月19日、ユーコープの組合員のみなさんが双葉町日田仮設の茶話会に参加されました。コープふくしまの支援スタッフも加わり、参加者に教えて貰いながら、「よこ型鏡付きようじ入れ」を作りました。みなさんは作業をしながら、10月の台風の被害状況や、今後の住居の不安など、話のネタが途切れることはありません。細かいキットに悪戦苦闘しながらも、和柄のかわいいようじ入れが無事完成しました。

茶話会終了後に、ユーコープの組合員のみなさんとコープふくしまの役職員9名で福島県農業総合センターを訪問し、福島県の農林水産物の緊急時環境放射線モニタリングの様子を見学しました。現在、ゲルマニウム半導検出器 11 台が稼働しており、検査物搬入時の留意点、分析試料の調製、測定時間などの説明を受けました。参加者からは、今後の福島県内の検査体制や機器の管理について質問しました。



小物作りに悪戦苦闘するみなさん



福島県農業総合センター見学の様



こども保養プロジェクト (コヨット!) 活動報告

～福島県 磐梯名湯リゾート ボナリの森～



開催日 2019/12/21 (土) ～22 (日)
 保養先 福島県 磐梯名湯リゾート ボナリの森
 参加者 10 家族 (大人 24 名、内スタッフ 8 名／
 子ども 20 名)



【1日目】

当初は沼尻スキー場で雪遊びをし、ボナリの森へ移動する予定でした。しかし、暖冬により十分な雪が降らず、残念ながらボナリの森へ直行することになりました。ボナリの森では、雪遊びの代わりに広場で外遊びを行い、ホテルの従業員の方が簡単なリレー競走を開催してくれました。また、コヨットスタッフが急遽シャボン玉を用意し、子どもも大人も楽しむ事が出来ました。

夕食はクリスマスが近いため、子ども用のお食事に可愛い装飾が施されており、子供たちはほとんど完食していました。参加者が自己紹介した後、サプライズでサンタさんとトナカイさんが大きなプレゼントと共に登場！子どもたち一人一人にプレゼントが手渡され、満面の笑顔が溢れました。最後には、みんなでクリスマスの歌を合唱しました。



広場での外遊びの様子



サンタさん、トナカイさんとの集合写真

【2日目】

子ども1人に1台ずつのクリスマスケーキ作りを行いました。用意された4号のスポンジケーキを生クリーム、いちご、ロールアップチョコレート、てんとう虫チョコなどで飾り付けました。どのクリスマスケーキも可愛く出来上がりました。昼食は、ボナリの森の人気メニュー「ハヤシライス」をいただきました。食いしん坊な子が、みんなのお皿によそい終わる前にどんどんお代わりをし、スタッフの分がなくなるのでは？とハラハラしました(笑)



クリスマスケーキ作りの様子

発行

日本生協連 社会・地域活動推進部 組合員活動グループ
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

百瀬